

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和6年4月解析分)

資料提供
令和6年4月30日
課 名 健康危機管理課
(感染症・疾病管理センター)
担当者 片平
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

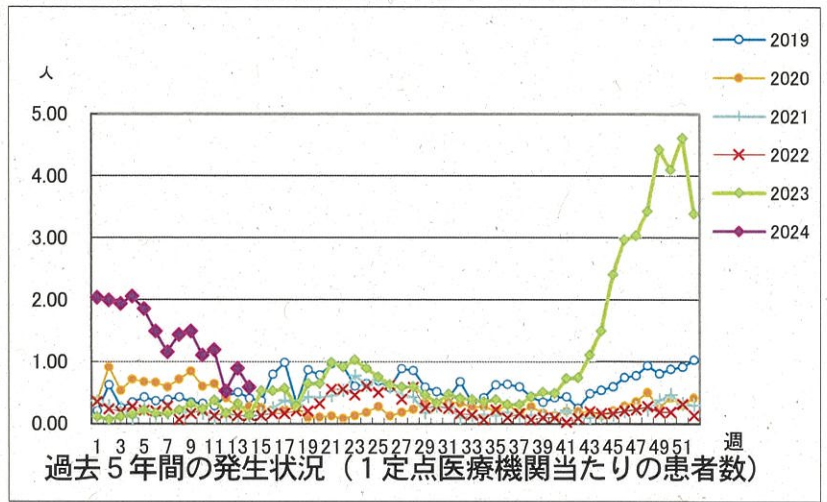
1 今月のトピックス

これからの時期、特に注意すべき感染症があります。いずれも、手洗いの励行が基本です。

(1) 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれることもありましたが、近年ではタオルの共用が減った等の理由からプール利用における集団感染の報告は見られなくなってきています。

病原体	アデノウイルス
症状	発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛等を訴え、3～5日間程持続します。 眼症状は、一般的に片方から始まり、その後、片方にも出現します。潜伏期は5～7日とされています。
感染経路	飛沫感染、接触感染
予防方法	・手洗いとうがいの励行が基本となります。 ・プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共用は避けましょう。

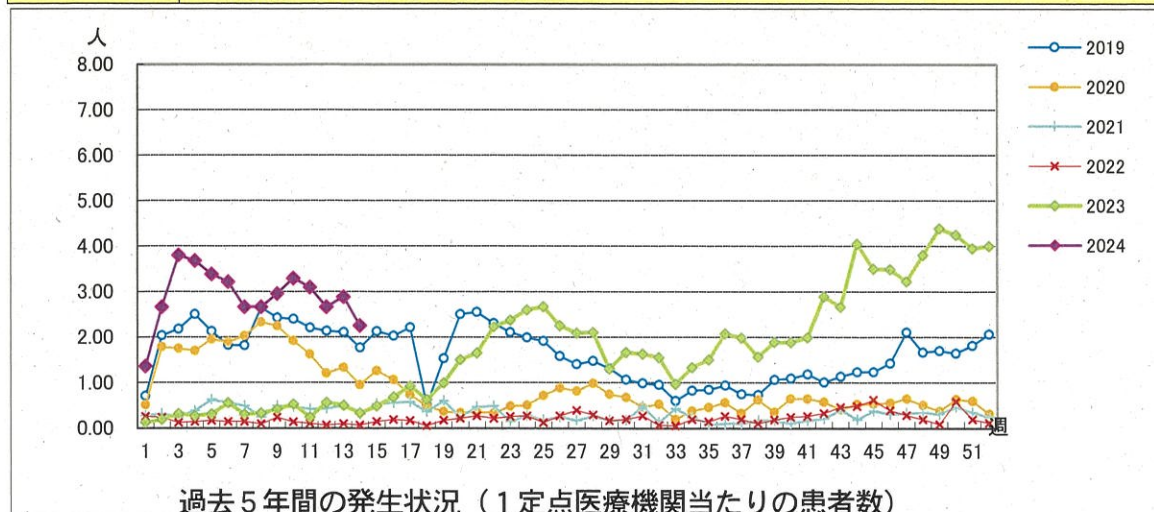


(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、咽頭や気管などの上気道が炎症を起こす感染症です。

学童期の小児を中心に、冬季及び春から初夏にかけて流行が見られ、これからの時期、流行には注意が必要です。

病原体	A群溶血性レンサ球菌
症状	感染から2～5日の潜伏期間の後に、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、莓舌と呼ばれる特徴的な症状もあります。 まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。
感染経路	接触感染
予防方法	・手洗いの励行が基本となり、アルコールによる手指消毒も有効になります。 ・有効なワクチンはありません。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年3月分(令和6年3月4日～令和6年3月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	6,309	13.96	2.77	↘	11	ヘルパンギーナ	4	0.01	0.03	
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	1,958	4.33		↓	12	流行性耳下腺炎	3	0.01	0.07	
3	RSウイルス感染症	132	0.47	0.25	↑	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	咽頭結膜熱	262	0.94	0.29	↘	14	流行性角結膜炎	41	0.54	0.35	↘
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	837	2.99	0.93	→	15	細菌性髄膜炎	3	0.04	0.00	
6	感染性胃腸炎	1,807	6.45	4.64	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	水痘	23	0.08	0.13	→	17	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.05	
8	手足口病	76	0.27	0.07	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	2	0.01	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.25	
10	突発性発しん	60	0.21	0.28	↗	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	62	2.70	3.27	→	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	64	3.05	3.08	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.94	→	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.11	
22	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.70	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.03	
23	淋菌感染症	20	0.87	1.16	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 **RSウイルス感染症** (0.20 → 0.47)

○急減疾患 **新型コロナウイルス感染症(COVID-19)** (9.53 → 4.33)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内177の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	70	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	26	結核(26)〔西部保健所(2)、西部東保健所(5)、東部保健所(3)、広島市保健所(7)、呉市保健所(4)、福山市保健所(5)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕
四類	5	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕
		E型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕
		デング熱(1)〔北部保健所(1)〕
		レジオネラ症(2)〔西部保健所(1)、広島市保健所(1)〕
五類	52	ウイルス性肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(2)〕
		ジアルジア症(2)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、呉市保健所(1)〕
		急性脳炎(2)〔広島市保健所(1)、呉市保健所(1)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)〔西部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕
		侵襲性髄膜炎菌感染症(1)〔北部保健所(1)〕
		侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕
		水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕
		梅毒(29)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(20)、呉市保健所(3)、福山市保健所(4)〕
百日咳(2)〔西部保健所(1)、広島市保健所(1)〕		